Allianz Global Investors

2026年の展望

新たな道を切り開く

主要インサイト要約

Allianz Global Investors

2026年の展望

AIブームに牽引された世界経済の底堅い成長は好材料ではあるものの、ダイナミクスの変化に伴い、より広範な投資機会を模索

要点

- 2026年の世界経済は、テクノロジー関連支出に支えられ、貿易戦争がもたらした根強い問題の影響を緩和し、底堅さを発揮すると予想。
- 主要市場ではインフレ率は全般的に抑制され、各国中央銀行は金利を正常化させており、明るい見通しは、十分に分散されたポートフォリオに有利に作用する可能性がある。
- 力強い利益成長が市場の強さの持続を後押ししているとはいえ、高い水準にあるAIおよび関連テクノロジー銘柄のバリュエーションは、今後注視する必要があるかもしれない。
- スタグフレーション・リスクと米ドル安を受けて、投資家は米国へのエクスポージャーを引き下げる可能性があり、そうした動きは欧州およびアジアの債券市場を支え、金価格を押し上げる可能性がある。

弊社の2026年のマクロ経済見通し

貿易戦争のリスクを振り切る世界経済の成長

- AI主導の投資と中央銀行による積極的な政策に支えられ、経済成長は2025年からごく小幅な減速にとどまる見込み。
- 貿易戦争の余波によってサプライチェーンの混乱が続き、貿易と資本の流れに分断が生じる可能性がある。
- 世界でインフレ動向が乖離：米国では3%を超える上昇が見込まれる一方、欧州とアジアでは低い水準にとどまる見込み。
- テクノロジー銘柄のバリュエーションとノンバンク融資に対する懸念には警戒を要するものの、低金利と民間セクターの債務水準が限定的であることでリスクは緩和。

2026年の世界のGDP成長率予想[1]

投資のポイント

2026年に世界の分断化が進めば、これまで以上にグローバルな分散投資へのアプローチが必要になる可能性がある。

1 出所：Allianz Global Investors。
過去のパフォーマンス、またはいかなる予想もしくは予測も将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

インド株式市場で時価総額が
50億米ドルを超える銘柄数

投資家が注目すべきことは?

成長重視の政策により市場の勢いは持続する可能性あり

- 株式については、より拡張的な財政政策と追加利下げの可能性が欧州株の下支えとなっている。
- その他の地域では、インドは高い潜在性を持つ市場として突出しており、中国は長期資本の流入について逆張り投資の機会を提供。
- 債券については、先進国市場のデュレーションは底堅さを示し、新興国債券は利回り向上と分散効果を実現できる可能性がある。
- 安全資産：日本円は新政権が支援材料となる可能性があり、金は依然として重要な分散投資手段である。

投資のポイント

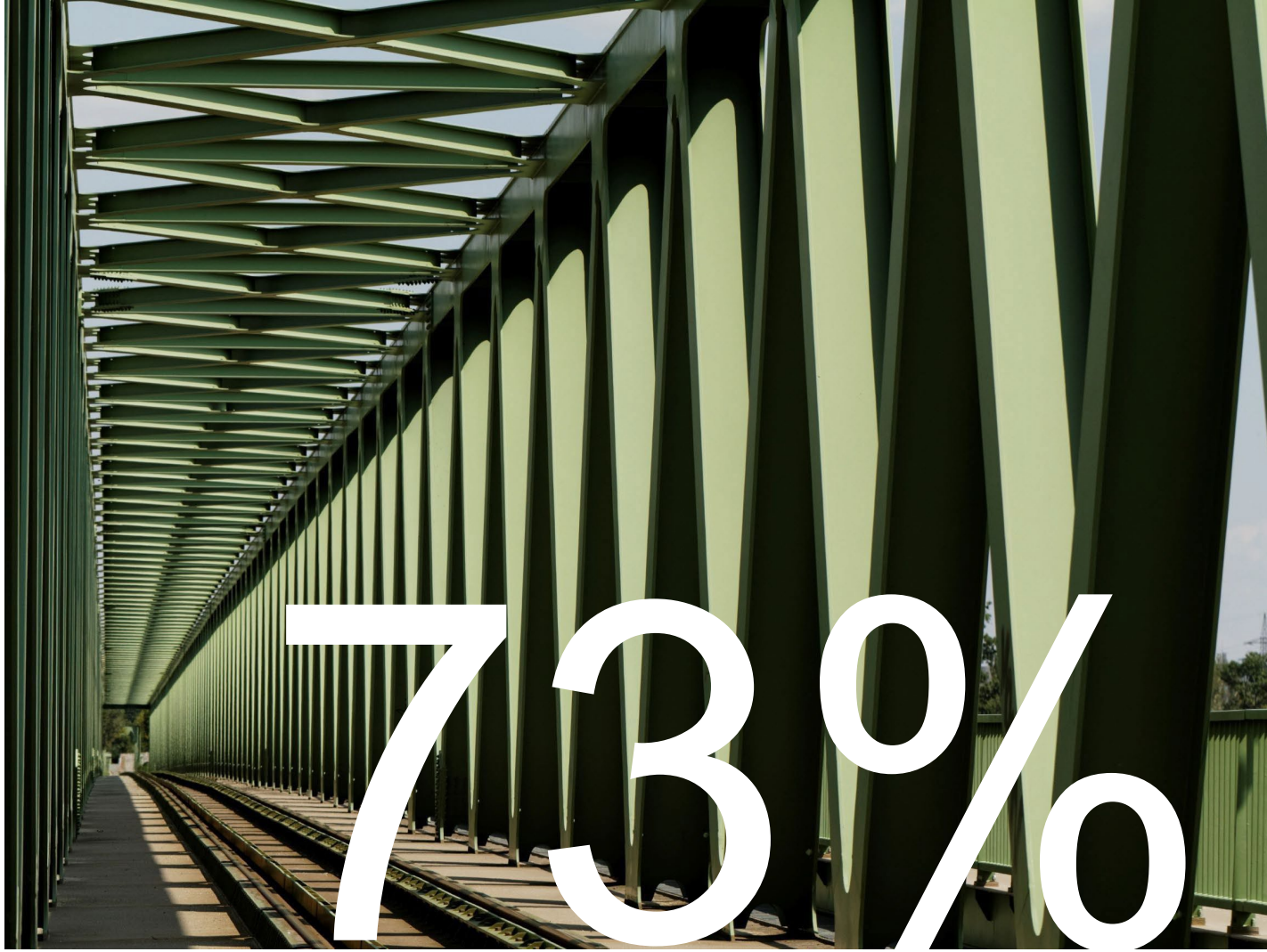
政策支援、長期的な成長機会または安全資産としての可能性という追い風が吹く市場に注目する。

過去のパフォーマンス、またはいかなる予想もしくは予測も将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

米国を再評価する時期か？

米国はいまだ多くのポートフォリオで主要な地域であるものの、他の地域における投資機会も検討すべきである

- トランプ大統領による税負担と保護主義政策にもかかわらず、米国の経済成長は引き続き堅調。
- AIは株式市場の成長にとって強力な源泉ではあるものの、株価指数に占める集中度と高いバリュエーションには警戒する必要がある。
- テクノロジー銘柄は引き続きポートフォリオに不可欠な構成要素であるものの、投資家は予期せぬ影響がもたらすリスクを軽減するために厳選すべきである。
- 米ドルが引き続き株式市場の下落に対するヘッジとしての役割を果たせない場合、一部の投資家は米国へのエクスポージャーを圧縮し始める可能性がある。



世界の主要株価指数に占める米国の割合[2]

投資のポイント

米国株が大部分を占める株価指数以外にも目を向けることがこれまで以上に重要。

2 出所：MSCI World Index、2025年10月31日時点。
過去のパフォーマンス、またはいかなる予想もしくは予測も将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

2030年の世界のプライベート・クレジット運用資産の予想額[3]

プライベート・マーケットにおける重要な投資機会とは？

もはやニッチな市場ではないプライベート・マーケット

- 投資家が利益実現とポートフォリオ向上のための新たな方法を模索しているため、セカンダリー投資はコア配分へと成熟していく見通し。
- エネルギー転換とデジタル・インフラへの資金拠出によって、インフラにおける投資機会が生じる見込み。
- セミリキッド・ファンド構造や欧州における欧州長期投資ファンド（ELTIF）2.0規制などの規制により、プライベート市場へのアクセスが容易になっている。
- 2026年を迎えても、プライベート・マーケットは、ポートフォリオの長期パフォーマンスの原動力であり続けている。

投資のポイント

アウトパフォーマンスの実現は、徹底的な分析、透明性、規律ある引受によって決まる。

3 出所：Private Markets in 2030、Preqin。
過去のパフォーマンス、またはいかなる予想もしくは予測も将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

2026年の方向を決定づける転換点とは？

特に注意すべきことを弊社CIOが解説

- 米国外でのテクノロジー投資の広がりにより成長が持続し、真にグローバルなAI革命が到来することもあり得る。
- 信用ストレスが高まれば、慎重な銀行は全体的に融資を厳格化する可能性がある。ただし、銀行の強固なファンダメンタルズが功を奏し、システミック・リスクは抑制されているように見える。
- 高い個別銘柄のボラティリティと、銘柄間の低相関性は、市場の幅が狭まったり、マクロ・ショックが発生したりした場合、持続的な調整が生じるきっかけとなる可能性がある。
- 重要なイベント・リスクとしては、リサ・クックFRB理事の進退と相互関税に関する米最高裁判所の判決、そして2026年11月に控える米中間選挙などが挙げられる。

2026年の世界のIT投資予想額（米ドル）[5]

投資のポイント

2026年は変動が激しくなる可能性があり、安定した収益源泉の必要性が浮き彫りに。

5 出所：Gartner、2024年7月時点。
過去のパフォーマンス、またはいかなる予想もしくは予測も将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

その他の
インサイト

2026年の展望：新たな道を切り開く

弊社の2026年展望の全文はこちら

その他の最近のコンテンツ

ハウスビュー2025年第4四半期：アクティブでありながらも警戒を維持

債券リスク管理: デュレーションとカーブポジションの偏りに要注意

米ドルについての解説

2025年第4四半期の欧州株式の展望

i5GやAIなど、ますます一般化するデジタルインフラ

新興国債券を巡る迷信を打破する

【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ･グローバル･インベスターズまたはグループ会社（以下、当社）が作成したものです。
- 特定の金融商品等の推奨や勧誘を行うものではありません。
- 内容には正確を期していますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている個別の有価証券、銘柄、企業名等については、あくまでも参考として申し述べたものであり、特定の金融商品等の売買を推奨するものではありません。
- 過去の運用実績やシミュレーション結果は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における当社の見解または信頼できると判断した情報に基づくものであり、将来の動向や運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容・見解は、特に記載のない場合は本資料作成時点のものであり、既に変更されている場合があり、また、予告なく変更される場合があります。
- 投資にはリスクが伴います。投資対象資産の価格変動等により投資元本を割り込む場合があります。
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- 本資料の一部または全部について、当社の事前の承諾なく、使用、複製、転用、配布及び第三者に開示する等の行為はご遠慮ください。
- 当社が提案する戦略および運用スキームは、グループ会社全体の運用機能を統合したものであるため、お客様の意向その他のお客様の情報をグループ会社と共有する場合があります。
- 本資料に記載されている運用戦略の一部は、実際にお客様にご提供するにあたり相当程度の時間を要する場合があります。

対価とリスクについて

1. 対価の概要について
   当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。投資一任契約に係る報酬以外に有価 証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国 で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行･ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当 社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額につ いては、お客様が資産の保管をご契約されている機関（信託銀行等）が決定するものであるため、また、契約資産額･保有期間･運用状況等により異なりますので、表示することはできません。
2. リスクの概要について
   投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させて頂きますが、対象とする金融商品及び金融派生商品（デリバティブ取引等）は、金利、通貨の価格、発行体の業績・財務状況等の 変動、経済・政治情勢の影響を受けます。 従って、投資顧問契約又 は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。 ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。

アリアンツ･グローバル･インベスターズ･ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第424 号
一般社団法人日本投資顧問業協会に加入
一般社団法人投資信託協会に加入
一般社団法人第二種金融商品取引業協会に加入

Allianz

Global Investors